

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0114210818		
法人名	医療法人 樹恵会		
事業所名	グループホーム いこいの樹		
所在地	北海道標津郡中標津町西8条北6丁目2番地5 (電話) 0153-73-3822		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月10日	評価確定日	平成20年3月27日

【情報提供票より】(平成20年2月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年5月20日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	9人, 非常勤 7人, 常勤換算 10.55人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	20,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	300円
	夕食	400円	おやつ	85円
	または1日当たり		1,085円	

(4) 利用者の概要(2月29日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 84.3歳	最低	66歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	町立中標津病院、石田病院、中標津総合歯科診療所
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは、母体の医療法人を中核として、他にデイサービス・訪問看護ステーション・訪問介護事業所等を運営し、地域の医療と福祉に中心的な役割を担っています。ホームは閑静な住宅地に昨年、新築移転し、2ユニットの平屋作りで広い敷地には、畑や花壇・中庭があり焼き肉などの行事にも活用されています。ホーム内の壁には、利用者の手芸の作品が所々に飾られ家庭的な雰囲気が感じられます。月2回、医師の往診があり、ラジオ体操・嚙下体操やレクリエーションを取り入れ身体機能の低下予防など、利用者の健康管理に努めています。又、野菜の差し入れや花壇の手入れ・小中学生のインターシップの実習の受け入れや保育所の園児の来訪もあり地域の人々との交流も行っています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価での課題としては、利用者の馴染みのある物品の持ち込みでしたが、ホームを移転した際に、家具類は本人が使い慣れた馴染みの物を持ち込むよう働きかけており、家族との写真や本人の趣味の作品などを飾り居心地よく過ごせる居室の環境作りに努めており改善されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価は、外部の方が事業所を選ぶ際の大切な拠り所であるとともに、事業者にとっては、自分達のケアを振り返り、サービスの質を向上させる機会と捉え、前回の改善点は全職員で話し合い、積極的に改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在4回実施されています。主な議題については ホームの日常の様子を紹介 自己評価の説明 行事の予定と案内 情報提供票の説明 事故・災害時の対応
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月、手書きの手紙での連絡や領収書のコピーと金銭出納帳を送付し、各ユニットで季節ごとにホーム便りを発行し、行事や暮らしぶりを伝えていきます。又、体調の変化により受診する際には、事前事後に電話にてご家族に報告、相談しており、意見、要望があればユニットで情報を共有し、よく話し合い、速やかに対応して改善し、結果をご家族に報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常での散歩では、地域の人と挨拶を交したり、地域の保育所の行事、町主催の文化祭や夏祭り、盆踊りなどに積極的に参加し、ホーム主催の焼き肉などの行事にも地域の人々が参加しています。又、小中学生のインターシップの実習場所として提供し交流を図っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が住み慣れた地域の中で、一人ひとりが安心して過ごしていけるように心掛け、地域の人と気軽に挨拶を交わせる関係を築き、地域の人々と積極的な交流が図れるホームを目指し、それに添った理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示しており、管理者は毎月の会議で、理念に添ったケアの重要性を全職員に指導しており、職員は、理念を共有して、実践に向けて日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常での散歩では、地域の人と挨拶を交したり、地域の保育所の行事、町主催の文化祭や夏祭り、盆踊りなどに積極的に参加し、ホーム主催の焼き肉などの行事にも地域の人に参加している。又、小中学生のインターシップの実習場所として提供し交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価は、外部の方が事業所を選ぶ際の大切な拠り所であるとともに、事業者にとっては、自分達のケアを振り返り、サービスの質を向上させる機会と捉え、前回の改善点は全職員で話し合い、積極的に改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については評価日現在4回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会長、包括支援センターの職員、町の職員及び管理者・職員で構成され、ホームの運営の取り組み状況、事故発生時の対応について意見を貰いサービス向上に活かしている。		今後は、運営推進会議のメンバーが積極的に参加し易いような議題の工夫、行政及び包括支援センターと連携して、地域に向けた研修会や勉強会なども検討し、地域におけるホームの役割や地域の高齢者の支援も視野に入れた取り組みを期待したい。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、町の担当者と気軽に相談や情報交換できる関係を築いている。又、管理者が町と連携して認知症サポーター養成講座を実施している。		管理者は町の医療・福祉に関わる事業者の集まりで構成されるケア研究会で中心的な役割を担い、勉強会や研修会、講演会の主催など積極的に行い、町の高齢者福祉に貢献出来るように取り組んでいます。
4. 理念を实践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、手書きの手紙での連絡や領収書のコピーと金銭出納帳を送付し、各ユニットで季節ごとにホーム便りを発行し、行事や暮らしぶりを伝えている。又、体調の変化により受診する際には、事前事後に電話にてご家族に報告、相談している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に、意見や不満、苦情を言い易い様にホームの雰囲気作りに努めている。意見、要望があればユニットで情報を共有し、よく話し合い、速やかに対応して改善している。又、結果をご家族に報告している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員と利用者の信頼関係を大切に考えており、馴染みの職員が長期間に渡って勤められるように管理者は相談事や悩みを極力聞くように心掛けており、退職や新規採用時には、それによって利用者にはダメージがないよう全体でフォローし配慮するよう心掛けています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の法人内の研修や町主催の勉強会やケア研究会、グループホーム協議会の研修会に積極的に参加し、伝達講習も実施されており外部での研修を受ける機会の確保を心掛けている。又、職員が希望する研修会や勉強会があれば、極力参加出来るようにシフトを調整している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	釧根グループホーム協議会を通じての、相互交流や勉強会や交換研修などの活動を通じて意見交換を行い、相互の関係作りに努めている。又、町のグループホーム間でも共同で勉強会を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	納得した上でサービスを利用するために、事前に本人・家族宅を管理者が訪問して納得を得るまで説明している。又、可能であれば施設見学により雰囲気をつかんでもらいながら、徐々に馴染みの関係を作っていく事を心掛けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に行う調理では、野菜の切り方や味付けを教えて頂いたり、畑作業、花の手入れなどの役割事、折り紙で千羽鶴や手芸の作品作りの趣味事、カラオケなどの楽しみ事など、その中で喜怒哀楽を共にし、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で本人の意向や希望を把握し、日常生活の中で表情や会話から利用者の希望や意向の把握に努め、職員間で情報を共有し、買い物、散歩、外食、ドライブ等、本人の希望や意向を実現出来るように支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、全職員の意見も取り入れてケアの課題を明らかにして、より具体的な内容になるような介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、月に一度、モニタリングを実施して、期間に応じてケアプランの見直しを行い、状態の変化があれば随時行っている。又、本人や家族、全職員の意見を取り入れ現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて通院の支援や、本人の希望や要望がある場合、買い物、散歩、気晴らしのドライブなど、なるべく本人の希望が実現できるように支援している。又、家族の代わりに各種手続きを代行する場合もある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	月2回、母体法人の医師の往診があり、気軽に相談できる関係を築いている。又、本人のかかりつけ医のある場合にも受診の支援をしている。利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、母体法人の医療機関と連携して利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。又、重度化された場合には、医療機関と連携した医療の支援を受けられる体制になっている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも注意して支援している。また、記録の扱いもについても、十分に注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式で一人ひとりの気持ちが把握され共有されている。又、利用者の希望や思いを尊重し、買い物や調理や食事の準備、畑作業の役割事への支援、折り紙やカラオケなどの趣味への支援、入浴や食事の時間など、本人の希望やペースに添って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に準備、食事、片付けを行っている。利用者の好みを把握し、定期的に希望を聞いてメニューに反映させている。又、ホームでお寿司やバイキング形式で食事を出したり、ドライブの際に観光地のレストハウスで外食の機会を作ったりし、食事を楽しめるように工夫して取り組んでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に添えるようにいつでも入浴できるようにしている。又、入浴剤などで入浴を楽しめるように工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式での生活歴を踏まえ、食事の準備、後片付け、畑作業の役割事や折り紙やカラオケなどの趣味活動にもさりげなく職員が手助けしながら自由に楽しめるよう支援している。又、日常的に散歩や買い物に行ったり、気晴らしのドライブなども定期的に行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望に添って、散歩・日光浴・買い物・畑作業などを自由に楽しめるよう支援している。また、全員で摩周湖・知床峠・サーモンパークなど地域の観光地へのドライブに出かけ気晴らしの支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間以外は施錠は行わず、自由に出入りできる状況にあることで、職員は利用者の状況・行動を把握して安全に暮らせる支援に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災等の緊急時対応マニュアルを作成している。又、防火管理者を設置し、年2回、避難訓練を実施し、その内の一回は消防署員立会いのもとで行われている。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるように運営推進会議で働きかけを行い、地域の人々を含めた火災避難訓練を実施し、地域との連携強化が図れるように検討している。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事摂取量、水分摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、一人ひとりの健康状態に合わせた量や調理の工夫がなされている。又、定期的に法人の栄養士に献立を見てもらいアドバイスも頂ける体制になっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用部分には花を飾ったり、壁には利用者が描いた絵画や折り紙の手芸作品を飾り、不快な音や光がないように配慮している。又、中庭には、焼き肉や外気浴が出来るようにベンチやテーブルが配置され、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は職員の手作りの表札があり、家具類は本人が使い慣れた馴染みの物を持ち込むよう働きかけており、家族との写真や本人の趣味の作品などを飾り居心地よく過ごせる居室の環境作りに努めている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。